

試験問題

令和8年度 大学院 システム工学研究科 システム工学専攻
博士前期課程 入学選考（9月期）

コース：建築コース 科目名 [建築計画]

令和7年9月13日（土）実施

システム工学研究科では、入学試験の公平性の維持と効率化を目的として、あらかじめ問題を蓄積して活用し、複数回の入学試験を実施することがあるため、試験問題は公開していません。

解答例

令和8年度 大学院 システム工学研究科 システム工学専攻
博士前期課程 入学選考（9月期）

コース：建築コース 科目名 [建築計画]

令和7年9月13日（土）実施

システム工学研究科では、入学試験の公平性の維持と効率化を目的として、あらかじめ問題を蓄積して活用し、複数回の入学試験を実施することがあるため、解答または解答例を公開していません。

出題の意図

令和8年度 大学院 システム工学研究科 システム工学専攻 博士前期課程 入学選考（9月期）

コース：建築コース 科目名 [建築計画]

令和7年9月13日（土）実施

建築計画に関する基礎的な知識の確認のため、以下のことについて問うている。

- 問1. 建物の耐久性を上げるためのひとつの手法として、時代のニーズの変化へ対応することがあげられる。この問いでは、建物の用途を変えて全面的にリノベーションすることで、新たな価値を与えるコンバージョンについて、図解しながら説明できる能力を確認する。
- 問2. 建築の色彩計画において、色がもたらす印象を利用して空間を演出する知識だけではなく、その色を長時間注視した場合に起きる補色残像現象について理解しておく必要がある。この問いでは、補色残像の原理について、図解しながら説明できる能力を確認する。
- 問3. 我が国の伝統的な空間の一つである和室について、地域によって計画寸法が異なることを理解しておく必要がある。この問いでは、「京間」と「田舎間」の畳の寸法について、図解しながら説明できる能力を確認する。